

ソリッドエース取扱い上のお願い

1. 使用上のお願い

- ①ソリッドエースは、地盤改良するためのセメント系固化材であり、モルタル・コンクリートには使用しないでください。
- ②ソリッドエースと対象土の混合割合は、改良効果に大きく影響しますので均一に混合してください。また、混合不良や過剰添加した場合に膨張を起こすことがありますので、適正な添加量でご使用ください。
- ③ソリッドエースをご使用の際は、必ず事前試験を行い、改良土からの六価クロム溶出量が土壌環境基準値以下であることをご確認ください。土壌環境基準値を超えた場合は使用しないでください。

2. 安全衛生上のお願い

- 本製品の安全な取扱いについては、弊社ホームページの安全データシート(SDS)をご確認ください。
- ①ソリッドエースを直接、目、鼻、口に入れたり、皮膚に触れないようにしてください。
 - ②ソリッドエースは、水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性を呈し、皮膚、目、呼吸器などを刺激し、炎症を起こすことがあります。
 - ③ソリッドエースが目、鼻、口に入ったり、皮膚に触れた場合は、すみやかに水で洗浄し、専門医の診察を受けてください。
 - ④ご使用に際しましては、防塵メガネ・防塵マスク・手袋などの保護具を着用して

ください。

- ⑤ソリッドエースには、極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合は、アレルギーが起こる可能性があります。

3. 保管上のお願い

- 現場などで保管する場合は、水が浸入しないようにパレット敷きなどでかさ上げしてください(直接、地面に置かないでください)。また、雨が降る恐れがある場合は、ビニールシートなどで覆い、ロープで固定してください。

フレキシブルコンテナの取扱い上のお願い

1. 吊上げ・吊下げの場合

吊ロープ、吊ベルトのフックは正しく掛け、片吊、急な吊上げ・吊下げ、横引きはしないでください。

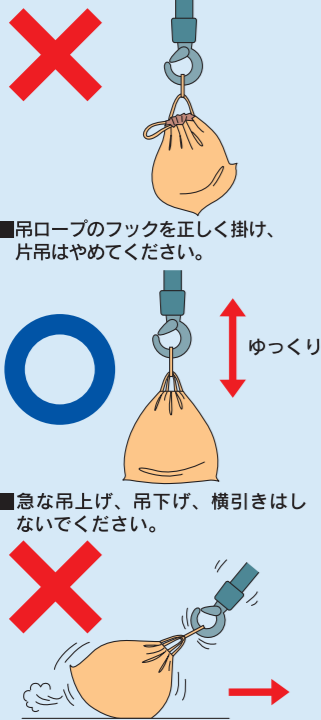
2. 排出する場合

吊上げたフレコンの下に入って開口作業をしないでください。また、開口部が地面にふれないよう吊上げ排出し、内容物は残らぬように全部排出してください。

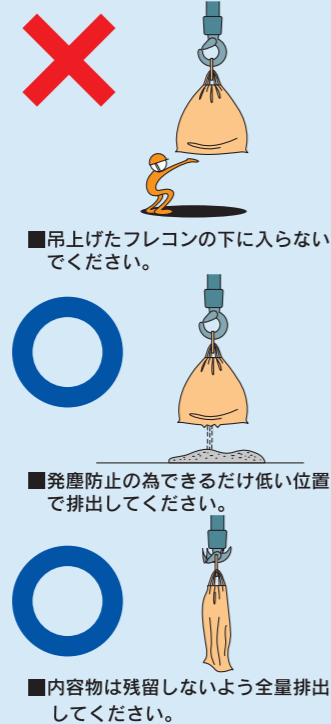
3. 残材処理について

ご使用後のフレコンや残材は法律に基づき適切な処理をお願いいたします。

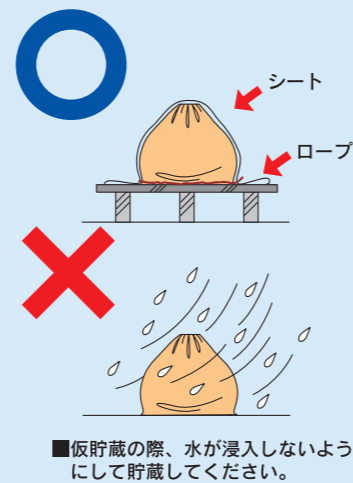
1. 吊上げる場合



2. 排出する場合



3. 保管する場合



麻生セメント株式会社

本社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-4-27 AIビル 11F TEL092(833)5100 FAX092(833)5116
福岡支店	〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-4-27 AIビル 11F TEL092(833)5110 FAX092(833)5119
鹿児島営業所	〒891-0131 鹿児島市谷山港 2-26 TEL099(262)0777 FAX099(262)0779
大阪支店	〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-5-13 創建御堂筋ビル 3F TEL06(6222)2211 FAX06(6222)2202
中国支店	〒730-0037 広島市中区中町 7-22 住友生命平和大通りビル 4F TEL082(247)9447 FAX082(247)1968
四国支店	〒760-0050 高松市亀井町 8-11 B-Z 高松プライムビル 5F TEL087(813)0295 FAX087(813)0251
セメント・コンクリート 技術センター	〒800-0311 福岡県京都郡苅田町長浜町 10 TEL093(435)1630 FAX093(435)1710

SA

高有機質土用 (火山灰質粘性土用セメント系固化材)

ソリッドエース #210

六価クロム溶出抑制型





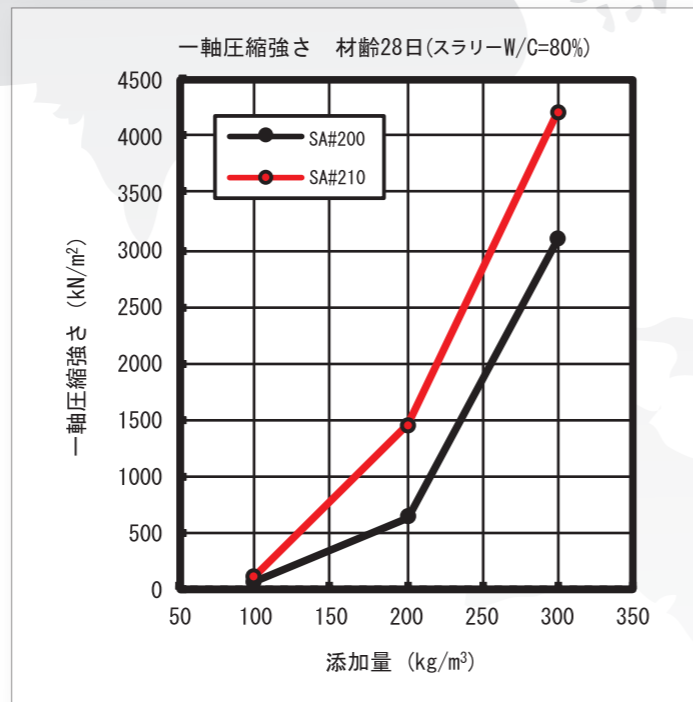
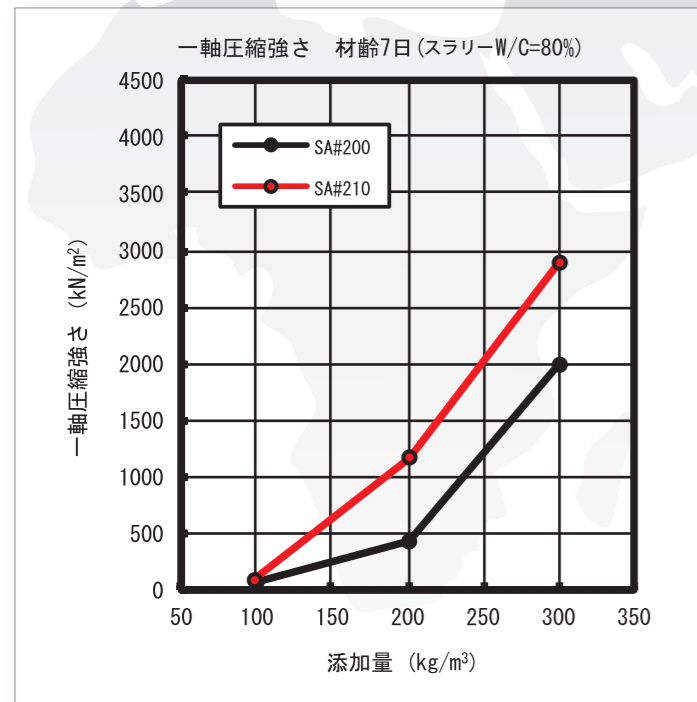
火山灰質粘性土用セメント系固化材

ソリッドエース #210

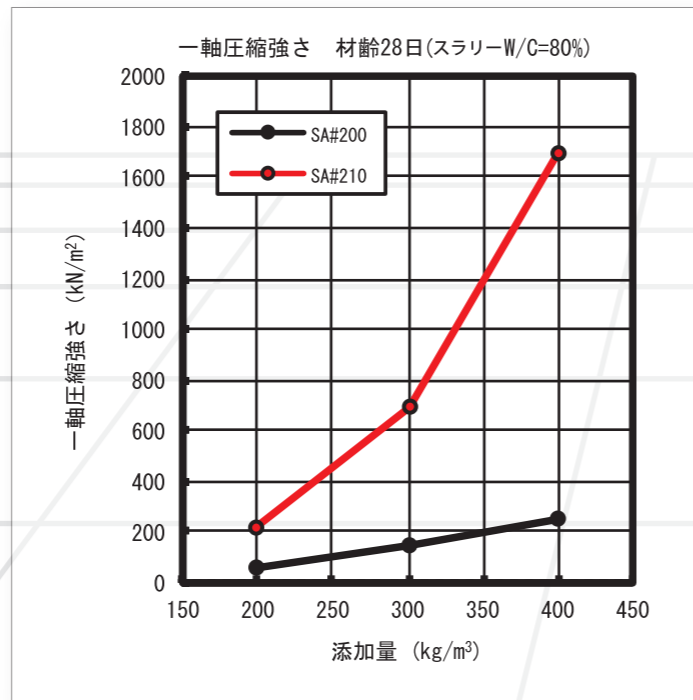
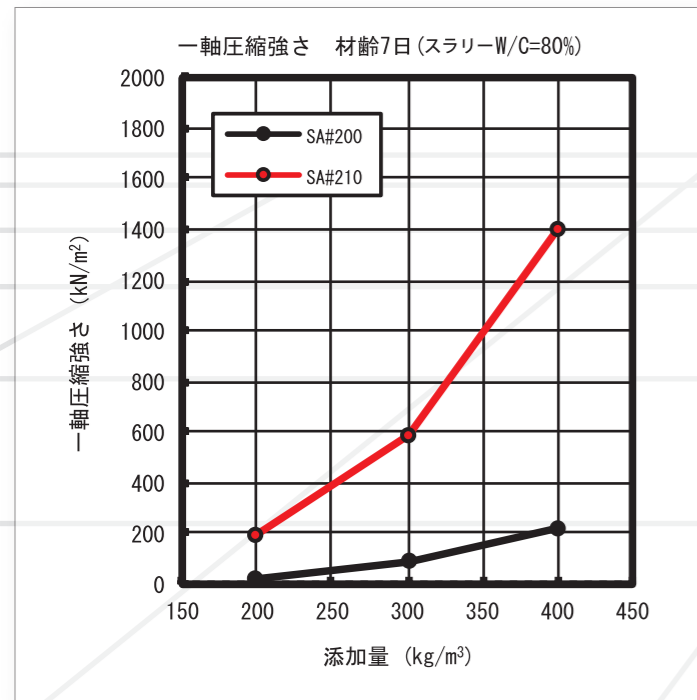
ソリッドエース#210は、赤ぼく、黒ぼくの通称名で知られる火山灰質粘性土に、有効な改良がなされたセメント系固化材です。従来品と変わらず、広範囲な土質にも適応可能です。赤ぼくや黒ぼくは、アロフェンなどのセメント中のカルシウムイオンなどを吸着する粘土鉱物を多く含むために、固化材の水和反応を阻害し、著しく硬化に悪影響を与えます。そのため従来品では強度が不足することがありました。また、固化材の添加量が非常に多くなり、施工性や経済性の問題が生じるケースがありました。そのような時にソリッドエース#210は特に有効です。水和反応の阻害を受けにくく、初期に十分な強度が得られるのが特徴です。従来品では、改良が難しかった火山灰質粘性土を、より経済的に改良できる特別な固化材です。

■室内配合試験例

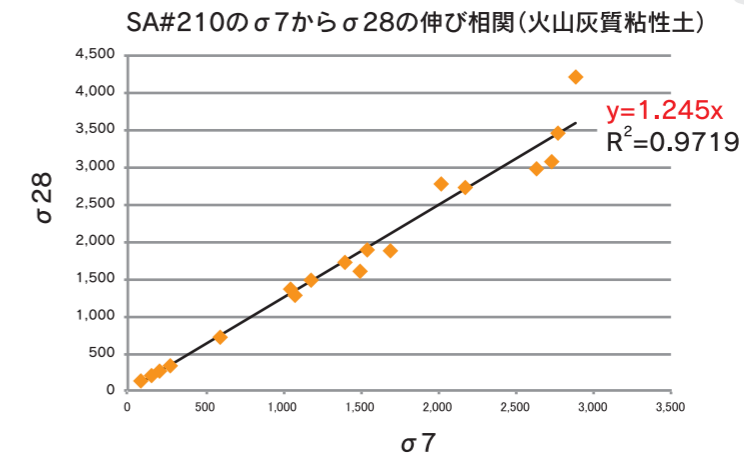
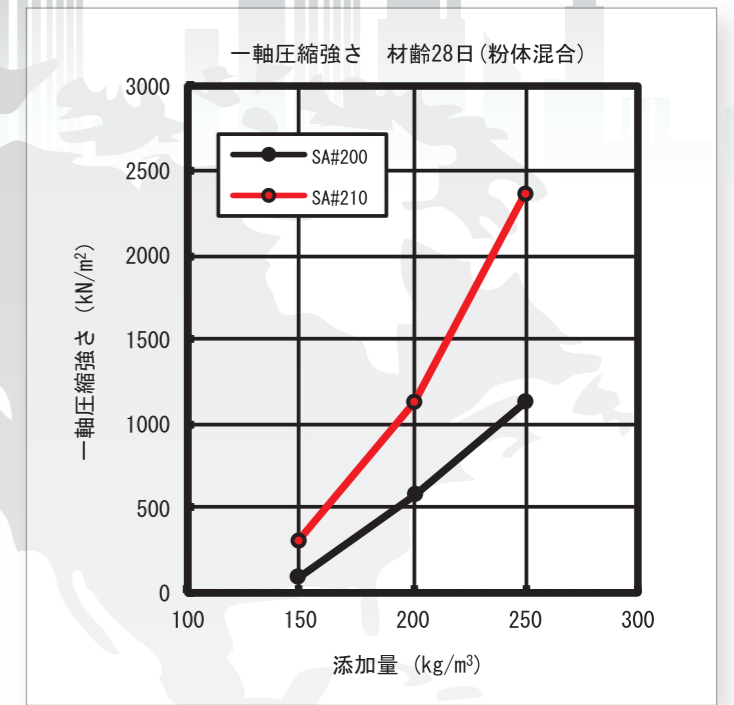
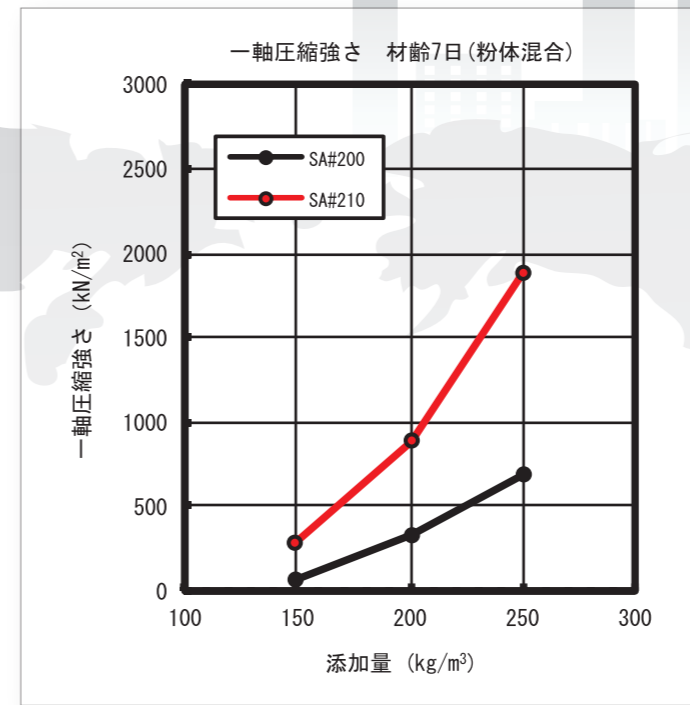
火山灰質粘性土(赤ぼく) $\gamma_t=1.525\text{g/cm}^3$ $W_n=83\%$



火山灰質粘性土(黒ぼく) $\gamma_t=1.426\text{g/cm}^3$ $W_n=82\%$



火山灰質粘性土(黒ぼく) $\gamma_t=1.368\text{g/cm}^3$ $W_n=108\%$



■ソリッドエース#210を用いた改良土からの六価クロム溶出試験例

	土質	湿潤密度 (g/cm ³)	含水比 (%)	添加方法	添加量 (kg/m ³)	改良土からの六価クロム溶出量 (mg/l) *
1	赤ぼく	1.525	83	スラリー W/C80%	300	0.04
2	赤ぼく	1.501	97	スラリー W/C80%	300	0.02 未満
3	黒ぼく	1.426	82	スラリー W/C80%	300	0.03
4	黒ぼく	1.368	108	粉体混合	250	0.04
5	黒ぼく	1.314	119	スラリー W/C80%	400	0.03

※環境庁告示 46 号法に準拠、土壌環境基準 0.05mg/l 以下

なお、赤ぼく、黒ぼくは六価クロムが溶出しやすい土壌です。本固化材のご使用に当たっては必ず事前に六価クロム溶出試験を実施していただきますようお願いします。